

1 領域〔書くこと〕で貫く外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

ALTの妹が高知や日本に来てみたくなるように、教科書中の登場人物などの考えや気持ちを理解したり、語彙や表現が言語の使用場面でどのように使われているか捉えたり、また既習の語句や表現を活用して、自分の考えをまとまりのある文章になるように再構築すること。

2 領域〔書くこと〕における資質・能力の系統

| 小学校第3学年及び第4学年 外国語活動 | 小学校第5学年及び第6学年 外国語 | 中学校 外国語 | 高等学校 外国語 |
|------------------------|--|--|---|
| | 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。 | 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 | 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 |

3 単元目標

ALTの妹が高知や日本に来てみたくなるように、教科書に書かれた英文を読み、それらを参考にしながら、高知や日本のおすすめの場所について、簡単な語句や文を用いて、自分の考えや思いをまとまりのある文章で書くことができる。

4 生徒の実態と指導観

本学級の生徒は、全体的に学習に意欲的に取り組んでいる。小学校での外国語活動によって、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が見られ、「聞くこと」及び「話すこと」の活動に慣れている生徒が多い。「書くこと」に関して、まとまりのある文章を書けるようになってきたが、知識・理解に課題が見られる生徒が多く、それに伴い生徒の苦手意識も高い。しかし、自分の伝えたいことを英語で表現したいという気持ちを持っている生徒も多く、その意欲を継続していく中で、言い換え表現なども共有していき、まとまりのある文で、伝えたいことをたくさん書いて自信をつけさせたい。そして、それについてフィードバックを繰り返す中で、今後正確に書く力をつけていきたい。

本単元では、動詞の過去形を文法事項として扱い、これまで生徒たちが表現できなかった過去のことについて表せるようになる。その際、ただ羅列的に事実を述べるだけでなく、書き表したものをペアやグループになって、聞いてもらったり読んでもらったりしながら、伝えたい内容を深めていく。また、相手に配慮し、見方・考え方を働かせながら文章を構成するよう、声かけや展開などを工夫したい。また、英語で伝えたいことをどのように表現すればよいのか困っている生徒に対しては、それを全体で、既習表現の中からどのように表現することができるか、簡単な語句にすることができないかなどの気づきを促す指導を意識したい。

5 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 〈知識〉 動詞の過去形の用法や文の構造を理解している。 〈技能〉 おすすめ場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、動詞の過去形や理由を加える because を用いながら、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く技能を身に付けている。 | ALTの妹が日本に来てみたくなるように、日本のおすすめ場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文で書いている。 | ALTの妹が日本に来てみたくなるように、日本のおすすめ場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文で書くようとしている。 |

6 領域〔書くこと〕における資質・能力の系統

| | |
|-----|---|
| 小学校 | 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。 |
| 中学校 | 【第1学年】 Program 3 「自己紹介」 文字や符号を識別し、語と語のつながりや区切りなどに注意して、正しい語順で趣味や好き嫌いなど、自分に関する情報を25語程度で書くことができる。 |
| | Program 6 「他己紹介」 相手意識をもって、情報を整理しまとまりのある文章で身の周りの人やお気に入りの人、ものについて30語程度で書くことができる。 |
| | Program 8 「おすすめ場所」 ALTやALTの家族に、高知や日本の場所を知ってもらうために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文と文のつながりに注意しながら35語程度のまとまりのある文章を書くことができる。 |
| | Program 10 「おすすめ場所」 *本単元 ALTの家族が、高知や日本に来てみたくなるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、自分の経験を加えて40語程度のまとまりのある文章を書くことができる。 |
| | 「1年間ありがとう」 相手意識をもって、既習したことを基に、話題を広げながらまとまりのある文で50語程度で書くことができる。 |
| | 【第1学年末ゴール】 身近な話題について、読み手意識をもって、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、中心となる話題に関して、簡単な語句や文を用いて50語程度のまとまりのある文章を書くことができる。 |
| | 【第2学年末ゴール】 身近な話題や聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や事実などを、感想、賛否、理由などを加えながら、中心となる話題に関して、70語程度の文章を書くことができる。 |
| | 【第3学年末ゴール】 社会的な話題や聞いたり読んだりしたことについて、客観的な事実や様々な考えなどに基づいた自分の意見やその根拠などを文と文のつながりや構成に留意し、具体例、根拠となるデータなどを挙げたり、対比させる英文を効果的に織り交ぜながら中心となる話題に関して、100語程度で読み手に伝わるよう書くことができる。 |

7 単元計画

【単元を貫く問い】相手に配慮し、どのように情報を整理し、文章を構成すればより相手に分かりやすくなるのか。

| | 言語活動 | 学習内容 ◇単位時間内のめあて | 評価規準 | 見方・考え方を働かせた生徒の姿 |
|---|---|--|---|---|
| 1 | 時系列に沿って、昨日したこと、しなかったことについて、ペアで、伝え合う活動。⇒書く活動へ | ◆本単元の見通しを持つ ○ALTの妹(バニヤン)からのビデオメッセージを見て、単元のゴールイメージを持つ。 ○動詞の過去形を学習する。 ①『We can②Unit7 My Best Memory』を見て小学校外国語活動をふり返る。 ②ピクチャーカードを使って過去を表す言い方を知る。 ③パターンプラクティスで定着を図る。 ◇ペアで、動詞の過去形を用いて、昨日したことやしなかったことを3文程度でやりとりを行う。 ①Speaking(相手を変えて3回やりとりを行う) ②Writing(伝えたいことを整理して、書く) | 動詞の過去形を用いて、昨日の出来事を書くことができる。【知】(ワークシート) 【目指す子どもの姿】 A: What did you do yesterday? B: I played soccer after school. I got home at seven. I ate nikujyaga for dinner. How about you? A: I got home at five. I played a video game. I watched TV before dinner. I listened to music. | ・動詞の形を変えたら、昔のことも伝えられるようになって表現の幅が広がるな。 ・時系列に沿って伝えたら相手が分かりやすくなるかな。 |
| 2 | 昨日したことについて、インタビューをして、メモを用いて第三者にレポートする活動。⇒書く活動へ | ○前時のふりかえり ①動詞の過去形の復習 ②昨日したことについて伝え合う。 ○教科書の内容理解を通して、過去の疑問文についての表し方を知る。 ◇過去形の疑問文を用いて、相手にインタビューし、その内容を第三者に伝えることができる。 ①Speaking(相手を変えて3回インタビューを行う) ②Reporting(学習班になり、得た情報を伝え合う) ③Writing(伝えたいことを整理して、書く) | 過去の疑問文を使って質問したことから、相手の昨日の出来事を書くことができる。【知】(ワークシート) 【目指す子どもの姿】 A: Did you watch TV yesterday? B: Yes, I did. A: What TV program did you watch? B: I watched Itte-Q. A: How was it? B: It was fun. | ・疑問詞を使って、やりとりを行うことで、相手の情報を引き出したり、自分の考えや気持ちを広げることができるかな。 |
| 3 | 夏休みの思い出について、バニヤンさんに理解してもらえよう、簡単な語句や文を用いて、伝えたいことをまとめ、ペアで伝えたり問答し合ったりする活動。⇒書く活動へ | ○前時のふりかえり ①動詞の過去形の復習をする。 ②昨日したことについてのインタビューをする。 ◇「夏休みの思い出」について、バニヤンさんに理解してもらえようやりとりを通してまとまりのある文章を書く。 ①『We can②unit 5 My Summer Vacation』や教師のモデル文を示しイメージを持つ。 ②マッピングを用いて、情報を整理する。 ③Speaking(中間評価を入れながら、相手を変えて2回行う) ※詳しく知るために、必ず1つ質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、1つ以上情報を書き加える。 ④Writing(伝えたいことを整理して、書く) ⑤Sharing(書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する) | 夏休みの思い出について、伝えたい内容をまとめて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて書いている。【思】(ワークシート) さらに情報を知ろうと質問している。【主】 【目指す子どもの姿】 I went to Kashiwa-jima with my friend. You can see a very beautiful sea. It took about three hours by car. We swam and enjoyed BBQ. We had a great time. (31words) | ・おすすめの場所に、自分の体験や感想を伝えたら、バニヤンさんに日本の夏休みの様子を理解してもらえようかな。 |
| 4 | 前時での夏休みの思い出について、ペアで、Why~?やBecauseを用いて理由を加えながら伝え合う活動。⇒書く活動へ | ○前時のふりかえり ①動詞の過去形の復習 ②先週日曜日にしたことについてのインタビュー ◇Why~?やBecauseを使って、前時での夏休みの思い出について理由や情報を加えて伝え合う。 ①教科書の音読を通して、理由をたずねたり答えたりする表現に気づき、紹介文の中で活用する。 ②Speaking(前時の内容を使って、相手を変えて3回行う) ※詳しく知るために、必ず1つ質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、1つ以上情報を書き加える。 ③Writing(伝えたいことを整理して、書く) ④Sharing(書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する) | 夏休みの思い出について、理由を加えながら、より詳しく書いている。【思】(ワークシート) さらに情報を知ろうと質問している。【主】 【目指す子どもの姿】 I went to Kashiwa-jima with my friend. You can see a very beautiful sea. It took about three hours by car. We swam there. I like swimming very much. So I was very happy. We enjoyed BBQ too. We had a great time. (43words) | ・理由を加えることで、もっと自分の気持ちが伝わるな。色々理由を伝えたいな。 |
| 5 | 冬休みの思い出についてバニヤンさんに理解してもらえよう、ペアで、伝えたいことをまとめ、簡単な語句や文を用いて伝えたり、問答し合ったりする活動。⇒書く活動へ | ○前時のふりかえり ①動詞の過去形の復習 ②夏休みの思い出を2名発表して全体でやりとりを行う。 ◇「冬休みの思い出」について、バニヤンさんに理解してもらえようやりとりを通してまとまりのある文章を書く。 ①教師のモデル文を示し、イメージを持つ。 ②マッピングを用いて、情報を整理する。 ③Speaking(中間評価を入れながら、相手を変えて3回行う) ※詳しく知るために、必ず1つ質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、必ず1つ以上情報を書き加える。 ④Writing(伝えたいことを整理して、書く) ⑤Sharing(書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する) | 冬休みの思い出について、伝えたい内容をまとめて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて書いている。【思】(ワークシート) さらに情報を知ろうと質問している。【主】 【目指す子どもの姿】 I went to my grandfather's home with my family on January 1. I saw my cousins. I was very happy. I got otoshidama. It is a New Year's gift. I bought a new video game. It's because I like video games. I had a great time. (46words) | ・事実だけでなく、自分の気持ちも加えて、夏休みの思い出よりももっと詳しく書いてみたいな。 |
| 6 | 自分の好きなことや好きなものについて、経験を加えながら、簡単な語句や文を用いて、ペアで伝えたり、問答し合ったりする活動。⇒書く活動へ | ○前時のふりかえり ①動詞の過去形の復習 ②冬休みの思い出を2名発表して全体でやりとりを行う。 ◇自分の好きなことや好きなものについて、経験を加えながら、伝え合う。 ①教師のモデル文を示し、イメージを持つ。 ②マッピングを用いて、情報を整理する。 ③Speaking(中間評価を入れながら、相手を変えて3回行う) ※詳しく知るために、必ず1つ質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、必ず1つ以上情報を書き加える。 ④Writing(伝えたいことを整理して、書く) ⑤Sharing(書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する) | 自分の好きなことについて、伝えたい内容をまとめて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて書いている。【思】(ワークシート) さらに情報を知ろうと質問している。【主】 【目指す子どもの姿】 This is my Snoopy. I like him very much. I have many Snoopy goods. I got it from Santa last year. I love it very much. He sits on the sofa in my room. (34words) | ・自分の好きなことは前に言えるようになったけど、もっと詳しく伝えたいな。 |
| 7 | バニヤンさんが日本に来てみたくなるように、情報を整理して、「おすすめ場所」について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、問答し合ったりする活動。⇒書く活動へ | ○前時のふりかえり ①自分の好きなことや好きなものについて2名発表し全体でやりとりを行う。 ◇Program 8で作成した「おすすめ場所」の英文を活用して、伝えたいことを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、問答し合ったりする。 ①Program8で行ったおすすめ場所紹介をもう一度ふりかえる。(2名発表) ②バニヤンのビデオメッセージを再度見て、ゴールイメージを持つ。 ③マッピングを用いて、情報を整理する。 ④Speaking(中間評価を入れながら、相手を変えて2回行う) ※詳しく知るために、必ず1つ質問をする。 ⑤発表(①の生徒がどのような変容があるか見取るために発表する) ⑥Writing(伝えたいことを整理して、書く ※次時で完成) | 7 ALTの妹が日本に来てみたくなるように、高知や日本のおすすめ場所について、自分が伝えたい内容をまとめ、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて、伝え合ったり、質問に答えたりすることができる。【思】(ワークシート) 相手からの質問をもとに加筆・修正して、再構築しながら表現しようとしている。【主】 8 ALTの妹が日本に来てみたくなるように、日本のおすすめ場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書いている。【思】(ワークシート) ALTの妹が日本に来てみたくなるように、日本のおすすめ場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文で書こうとしている。【主】 | ・バニヤンさんに分かるように、もう少し情報を詳しくいれてみよう。 ・経験を含んだらもっと説得力が増すかな。 |
| 8 | | ◇前時でのやりとりを通して構成した「おすすめ場所」について、まとまりのある文章を書く。⇒読み合う。 ○もっと書き加えられないか追加質問をもらう。 | 【目指す子どもの姿】 This is Kyoto. In Kyoto, you can eat yuba. It's a kind of tofu. I ate it with my family last year. It was so good. And you can see Kinkaku-ji. I saw it. It was very beautiful! So I took pictures. (42words) | |

【目指す子どもの姿】

既習の知識、技能、体験を基にして、相手に配慮し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書くことができる。また、書き表したものをペアやグループになって聞いてもらったり読んでもらったりしながら、伝えたい内容を深め、より良いものへ再構築しようとしている。